

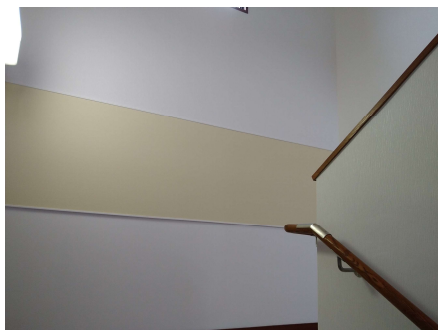
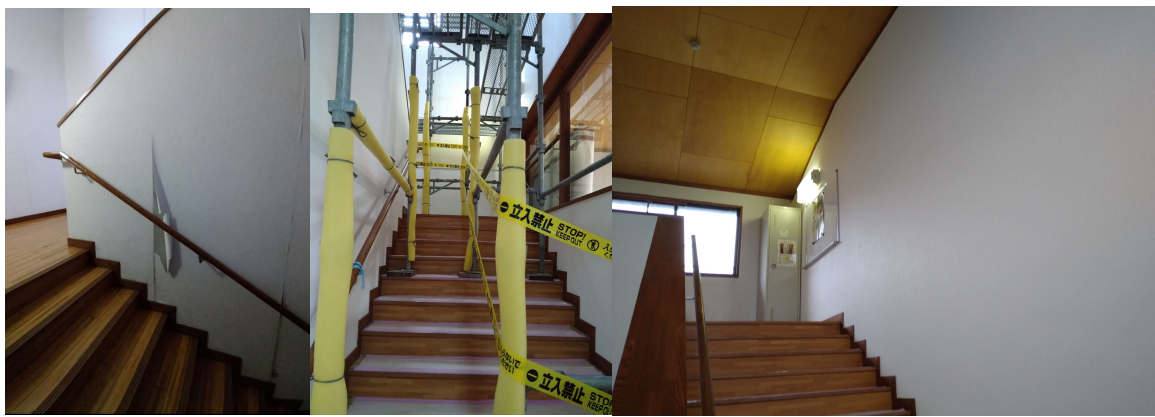


多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

<b>学校通信</b> <b>ひがしやま 第29号</b>	発行日 令和6年6月28日(金)
	発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

## ○校舎両階段クロス張替等の工事が終わりました。

工事業者の方から、子どもたちが高所作業中の姿をみて「すごい！」とか、壁紙が変色し、剥離が著しい状態から、一転、真新しい壁を見て「わあ、きれい！」と言ってくれたことが、とてもうれしかったと話してくれました。工事中の騒音や過ごし方では、子どもたちに大変迷惑をかけました。



約26年ぶりの壁紙リフォームです。  
あわせて両階段踊り場のコンクリートの壁に、掲示板を据え付けてもらいました。(予算内での設置になりましたが)  
現掲示物を整理するとともに、子どもたちにとって効果的な掲示を考えていきます。

★★

## ○校長室での小学生との面談について。

小学生を対象に面談を開始しました。目的は中学生と同じです。何年生まで対象とするかは、はっきり決めていません。取り急ぎ、国語の授業において、担任に協力を「依頼」されて「杜子春」の読み聞かせをした5年生から開始しました。

5月から始めた中学生の面談は6月中旬に一応終了しました。内容を要約して、何度か本通信でもお知らせをしたところです。

面談は私が東山の子どもたちをよく知りたい考え、実施しました。これからも機会を設けて「今何を感じているか」など子どもたちといっしょに考えていきたいと思えます。

中学生の多くが私に教えてくれた本校の「すばらしさ」は①自然が豊か。②少人数。③静か。④たくさん友人ができること⑤行事が多い。どれもこれも私が彼らと同じ年代には経験したことがなく、思いもしなかったことでした。